



株式会社ジャックス
証券コード：8584

●株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに当社の第86期(2017年3月期)報告書をお届けさせていただきます。
ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

中期3カ年経営計画「ACT-Σ(アクト・シグマ)」の
総仕上げを通じて、経営戦略を実行し、
企業価値のさらなる拡大を追求してまいります。

●2017年3月期の経営成績

第86期(2017年3月期)の消費者信用産業は、低金利環境を受けて貸出残高が増加傾向となりました。また、クレジットカードの利用シーンの広がりにより市場規模は拡大している一方、競合環境はますます激化しております。

このような中、当社はお客様、加盟店様の利便性を追求し、付加価値の高い多様なサービスを提供することで、オートローンなどのクレジット事業や銀行個人ローン保証などのファイナンス事業が牽引役となり営業収益が増加いたしました。さらに、海外事業においては、昨年5月にフィリピンへ進出、本年2月にはインドネシアの持分法適用関連会社を子会社化する決議を行うなど、グローバル展開を鋭意進めております。営業費用につきましては戦略的なIT投資を継続しつつ、コスト構造改革の推進により物件費の抑制に努めてまいりました。一方、営業債権残高の拡大に伴う未収債権の発生に備え、貸倒引当金の積み増しを行った結果、一時的な費用の増加がありましたが、収益基盤の拡大とコスト構造改革を進展させる1年となりました。

株主通信

第86期報告書

2016年4月1日～2017年3月31日

未来にタネをまこう。

JACCS

取締役社長

板垣康義



●「ACT-Σ」最終年度に向けて

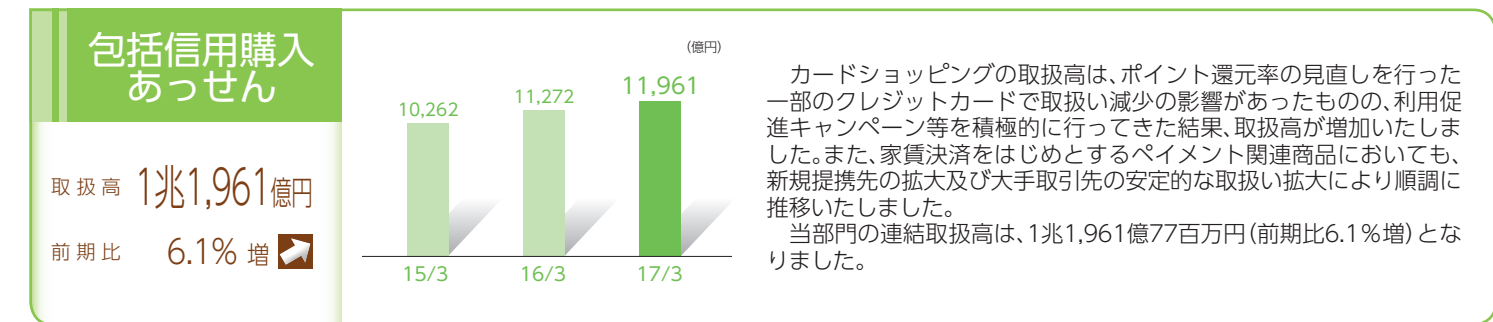
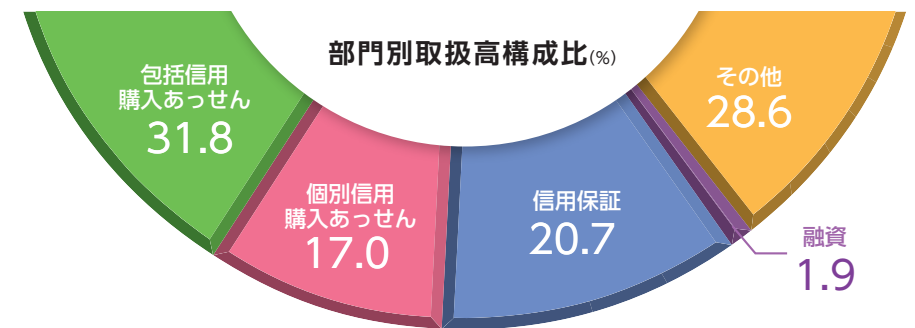
当社グループは2018年3月期に中期3カ年経営計画「ACT-Σ」の最終年度を迎えます。

中計ビジョンである「日本を代表する先進的なコンシューマーファイナンスカンパニー」を実現すべく、前期はさまざまなタネをまいてまいりました。訪日中国人向け電子決済サービス「アリペイ」の提携を第一歩とし、Visa/Mastercardのアクワイアリング事業を本格的に開始いたしました。既存事業においては様々な施策の展開を行うとともに、海外事業の取り組みを強化してまいりました。「ACT-Σ」最終年度は、コーポレートガバナンスをさらに強化し、健全で透明性の高い経営に努めるとともに、経営効率の向上を目指して取り組んでまいります。また、当社は従業員への取り組みとして働き方改革を実行し、従業員が心身ともに健康な状態で働ける環境を構築してまいります。

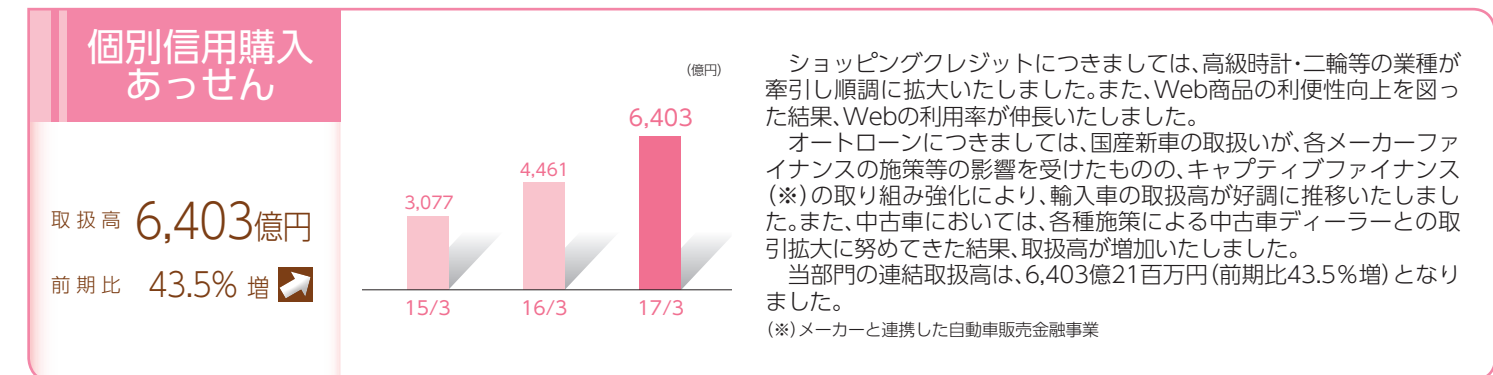
株主還元につきましては、グループとしての成長に向けた資本の確保や財務体質をより一層強化し、安定した配当を実施してまいります。

株主のみなさまには、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

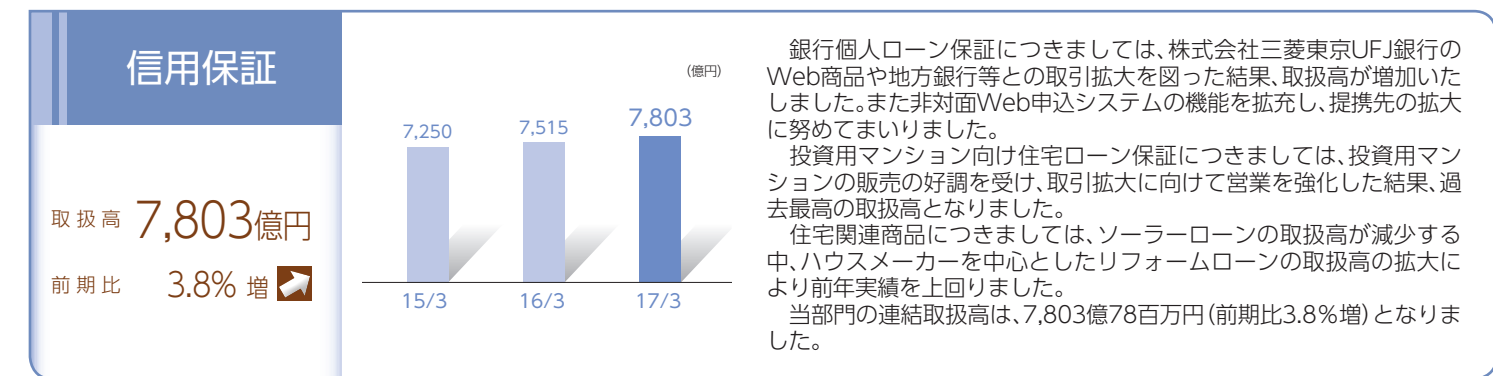
●部門別情報



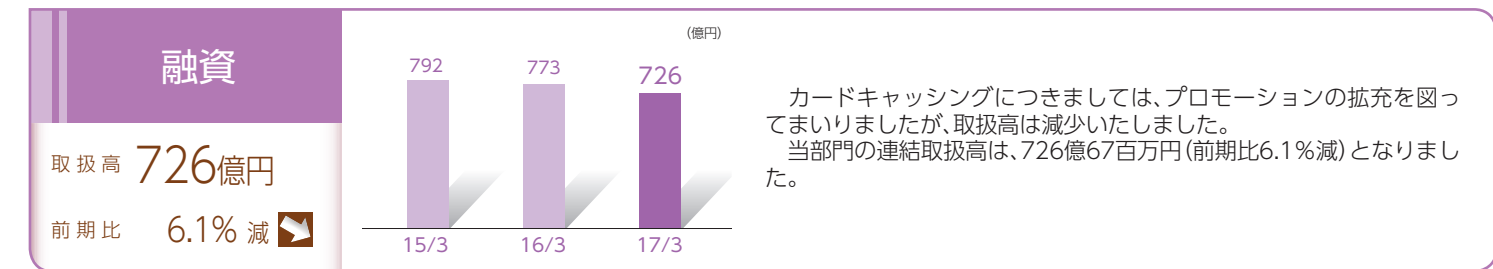
カードショッピングの取扱高は、ポイント還元率の見直しを行った一部のクレジットカードで取扱い減少の影響があったものの、利用促進キャンペーン等を積極的に行ってきた結果、取扱高が増加いたしました。また、家賃決済をはじめとするペイメント関連商品においても、新規提携先の拡大及び大手取引先の安定的な取扱い拡大により順調に推移いたしました。
当部門の連結取扱高は、1兆1,961億77百万円(前期比6.1%増)となりました。



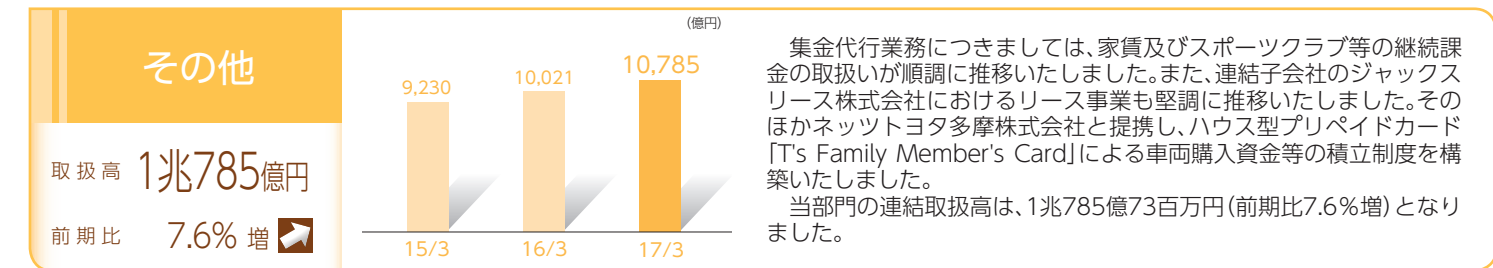
ショッピングクレジットにつきましては、高級時計・二輪等の業種が牽引し順調に拡大いたしました。また、Web商品の利便性向上を図った結果、Webの利用率が伸びました。
オートローンにつきましては、国産新車の取扱いが、各メーカーファイナンスの施策等の影響を受けたものの、キャプティブファイナンス(※)の取り組み強化により、輸入車の取扱高が好調に推移いたしました。また、中古車においては、各種施策による中古車ディーラーとの取引拡大に努めてきた結果、取扱高が増加いたしました。
当部門の連結取扱高は、6,403億21百万円(前期比43.5%増)となりました。
(※)メーカーと連携した自動車販売金融事業



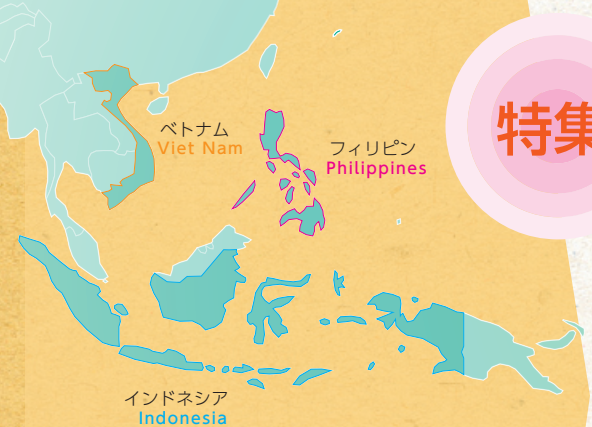
銀行個人ローン保証につきましては、株式会社三菱東京UFJ銀行のWeb商品や地方銀行等との取引拡大を図った結果、取扱高が増加いたしました。また非対面Web申込システムの機能を拡充し、提携先の拡大に努めてまいりました。
投資用マンション向け住宅ローン保証につきましては、投資用マンションの販売の好調を受け、取引拡大に向けて営業を強化した結果、過去最高の取扱高となりました。
住宅関連商品につきましては、ソーラーローンの取扱高が減少する中、ハウスメーカーを中心としたリフォームローンの取扱高の拡大により前年実績を上回りました。
当部門の連結取扱高は、7,803億78百万円(前期比3.8%増)となりました。



カードキャッシングにつきましては、プロモーションの拡充を図ってまいりましたが、取扱高は減少いたしました。
当部門の連結取扱高は、726億67百万円(前期比6.1%減)となりました。



集金代行業務につきましては、家賃及びスポーツクラブ等の継続課金の取扱いが順調に推移いたしました。また、連結子会社のジャックスリース株式会社におけるリース事業も堅調に推移いたしました。そのほかネットヨタ多摩株式会社と提携し、ハウス型プリペイドカード「T's Family Member's Card」による車両購入資金等の積立制度を構築いたしました。
当部門の連結取扱高は、1兆785億73百万円(前期比7.6%増)となりました。



特集

ASEANに積極展開するJACCS

インドネシア

PT Mitra Pinasthika Mustika Finance (略称 MPMF) を連結子会社に。

当社は、2012年12月PT Sasana Artha Finance (現MPMF社)へ40%出資し、二輪車・四輪車の販売金融事業を現地で展開してまいりました。この度MPMF社の発行済株式を20%追加取得することでジャックスの連結子会社にすることにいたしました。

インドネシアは、世界第4位の人口を擁し、中長期的な内需拡大・経済成長が期待されております。引き続き、日本国内で培ってきた販売金融事業のノウハウの提供を加速することで、MPMF社のさらなる事業強化及び拡大を図り、当社の連結業績の向上を目指してまいります。



西ジャカルタ地区のクヤド支店にて

フィリピン

MMPC Auto Financial Services Corporation (略称 MAFS) にて開所式。本格展開スタート。

当社は、昨年5月にフィリピンで三菱自動車を専門に取り扱う販売金融会社、MMPC Auto Financial Services Corporation (MAFS)を合併で設立し、昨年9月より本格的に営業を開始いたしました。

現在はマニラ首都圏の三菱自動車販売店で営業を行っておりますが、今年度中にフィリピン全土で営業を開始できるよう、社員教育や業務フローの構築など事業基盤の拡大に向けて取り組んでまいります。



マニラのコンラッドホテルで行われた開所式

MAFS概要

事業	三菱自動車の販売金融とリース、仕入れ金融
本社	フィリピン・パシッグ市
資本金	7.5億フィリピンペソ
株主	ジャックス
双日	20%
Mitsubishi Motors Philippines Corporation	35%
BDO Leasing and Finance, Inc.	5%
	40%

ベトナム

JACCS International Vietnam Finance co.,Ltd. (略称 JIVF) の取扱い業種拡大へ。

ベトナム現地法人JIVFは、二輪車ローンの取扱いからスタートし、ローンカウンター及びエリアの拡大に努めてまいりました。その後クレジットカードの発行を開始、昨年より四輪車・家電ローンの取扱い業種を拡大するなど事業基盤の拡充を図り、ファイナンス会社としての地位確立を目指しております。

TOPICS

Alipay(アリペイ)の アクワイアリング業務を開始

訪日中国人のインバウンド需要の取り込みを図るため、中国の電子決済サービス最大手アリペイと提携いたしました。当社は全国65拠点のネットワークを活かし、既存加盟店へアリペイ決済の導入を促進することで、訪日中国人が自国と同じような決済ができる環境づくりに努めてまいります。

また、アリペイの特徴でもあるスマートフォンを利用した効果的な販売促進機能の活用により、訪日中国人を加盟店へ送客し、加盟店の売上拡大を支援してまいります。



Apple Payへの 対応開始



当社は、Apple社の非接触決済サービスApple Payの対応を本年3月より開始いたしました。Apple Payは、お客様が常に持ち歩いているiPhone7やApple Watch Series2などで1日を通してより簡単に、交通機関や店舗、アプリケーション、ウェブサイトでのお買い物の際にご利用いただける決済サービスです。全国のQUICPayに対応した店舗でご利用いただける他に、Apple PayのSuicaのチャージにジャックスカードをご利用いただくことが可能です。また、Apple Payは、安全性と個人情報の保護についても高いレベルの配慮がなされています。当社は、今後もお客様の利便性の向上に努めてまいります。



健康経営の取り組み



当社グループは、従業員の健康管理を経営的な視点からとらえ、所定就業時間における喫煙の禁止を実施しております。また、心身のリフレッシュを目的とした「ノー残業デーの推進」・「有給休暇の取得促進」等を行い、過重労働の防止と長時間労働の抑制に努めております。さらに、官民連携で推進する新たな国民運動「プレミアムフライデー」の取り組みに賛同し、当社グループは「プレミアムウィークデー」と称し、毎月平日の1日を指定し、午後3時に退社することを実施しております。

引き続き従業員の仕事と生活がより一層充実するよう「働き方改革」を進めるとともに、従業員の生産性の向上を図ることで、持続的な企業価値向上を目指してまいります。

基幹システムの バックアップ・センターを構築

当社は、日本アイ・ビー・エム株式会社と協同して、災害時でも事業を継続できるよう基幹業務システム「JANET(ジャネット)」のバックアップ・センターを西日本に構築し、リスクマネジメント強化に取り組んでおります。

JANETは、高度で複雑な決済処理にも柔軟に対応でき、加えて災害対策を強化したことから、加盟店とのさらなる信頼関係の構築に努めていけるものと確信しております。



社会貢献の取り組み

ベルマークで函館の小学校に楽器購入支援

ジャックスグループは、各拠点で集めているベルマークのうち、24万点をトロンボーン1台の購入資金として金管バンドの活動が盛んな函館市立青柳小学校に寄贈いたしました。

昨年12月に同校で行われた贈呈式で児童から金管バンド演奏と感謝の言葉が綴られた寄せ書きをいただきました。



社員クレジットカードの利用ポイントを寄付

当社社員が利用するジャックスカードに付与されたポイントの一部と、その同額を当社も拠出し寄付を行っております。

2016年度は総額580万円を、役職員による投票により選出した寄付先「NPO法人ゴールドリボン・ネットワーク」(小児がんの子どもたちを支える活動を行う団体)をはじめとした11団体へ寄付を行いました。



地域の児童養護施設へクリスマスプレゼント

当社本部(東京都渋谷区)近隣の児童養護施設「広尾ふれんず」に遊びながら学習能力をアップさせる玩具「知育パズル」をクリスマスプレゼントとして贈りました。知育パズルは、間伐材の木片にマスキングテープを貼る手作りの玩具で、本部役職員36名のボランティアで作成いたしました。



家族と一緒に「カリンバ」作り

家族も一緒に参加できるボランティア活動として、休日に当社本部会議室にて役職員と家族40名が参加し間伐材を用いてアフリカの民族楽器「カリンバ」を作成いたしました。

作成した「カリンバ」は「NPO法人こどものちから」を通して、国立がんセンター小児病棟待合室に寄贈し、入院中や通院中の子どもとその兄弟の遊び道具として活用されます。

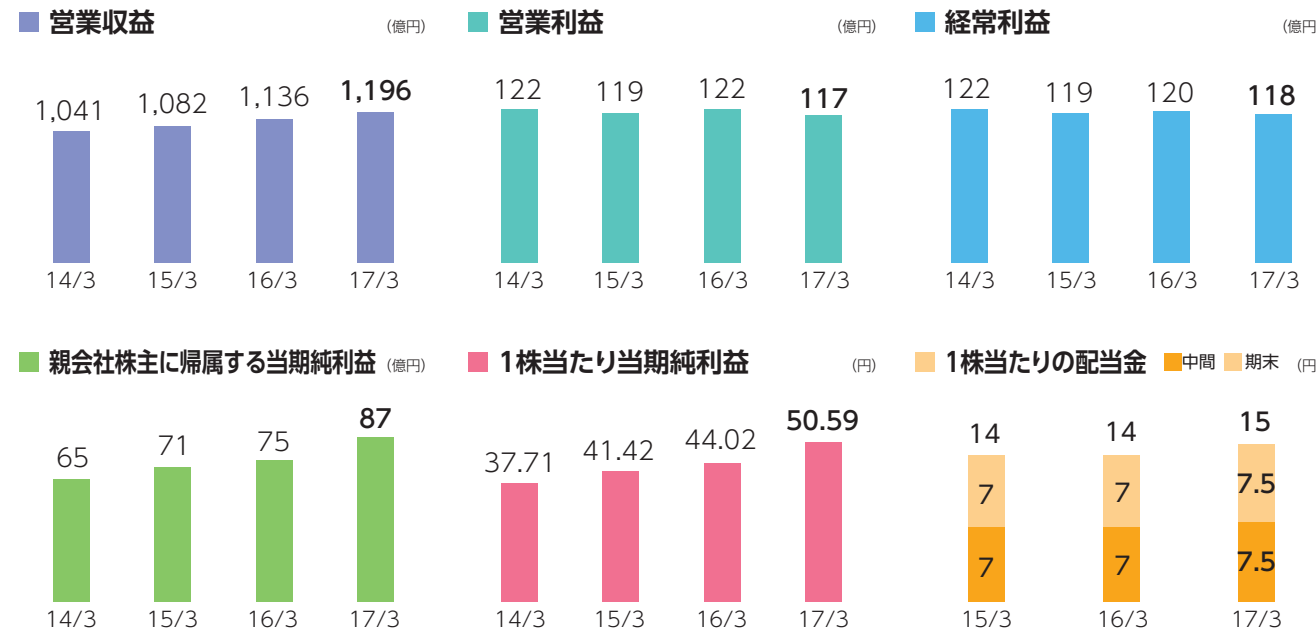


● 連結決算ハイライト

営業収益は、オートローンをはじめとしたクレジット事業が牽引し増加いたしました。

一方、営業利益及び経常利益は、営業債権残高の拡大に伴う未収債権の発生に備え、貸倒引当金の積み増しを行った結果、一時的に費用が増加し減益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益による特別利益の計上により増益となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)		
	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当連結会計年度 (2017年3月31日)
資産の部		
流動資産	3,362,172	3,634,114
固定資産	75,468	76,468
有形固定資産	19,666	19,617
無形固定資産	25,441	25,396
投資その他の資産	30,359	31,453
資産合計	3,437,641	3,710,582
負債の部		
流動負債	2,839,280	3,013,241
固定負債	465,077	557,053
負債合計	3,304,358	3,570,295
純資産の部		
株主資本	129,687	136,115
資本金	16,138	16,138
資本剰余金	30,506	30,515
利益剰余金	84,451	90,676
自己株式	△1,407	△1,214
その他の包括利益累計額	3,422	3,955
その他有価証券評価差額金	4,302	5,390
繰延ヘッジ損益	△25	△309
為替換算調整勘定	159	△7
退職給付に係る調整累計額	△1,013	△1,118
新株予約権	172	216
純資産合計	133,282	140,287
負債純資産合計	3,437,641	3,710,582

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

	前連結会計年度 (2015年4月1日から 2016年3月31日まで)	当連結会計年度 (2016年4月1日から 2017年3月31日まで)
営業収益	113,673	119,654
営業費用	101,431	107,855
営業利益	12,242	11,798
営業外収益	133	262
営業外費用	284	246
経常利益	12,091	11,815
特別利益	41	1,324
特別損失	155	159
税金等調整前当期純利益	11,977	12,980
法人税、住民税及び事業税	4,333	6,125
法人税等調整額	74	△1,869
当期純利益	7,569	8,724
親会社株主に帰属する当期純利益	7,569	8,724

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

	前連結会計年度 (2015年4月1日から 2016年3月31日まで)	当連結会計年度 (2016年4月1日から 2017年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△144,453	△152,722
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,859	△6,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	151,897	124,318
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,418	△34,546
現金及び現金同等物の期首残高	85,491	84,073
現金及び現金同等物の期末残高	84,073	49,527

注：記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

会社概要 (2017年3月31日現在)

商 号	株式会社ジャックス
英 文 社 名	JACCS CO.,LTD.
設 立 年 月 日	1954年6月29日
資 本 金	161億38百万円
本 店 所 在 地	〒040-0063 北海道函館市若松町2番5号 TEL.(0138)26-4136(代)
本 部 所 在 地	〒150-8932 東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号 恵比寿ネオナート TEL.(03)5448-1311(代)
従 業 員 数	2,679名

取締役・監査役 (2017年6月29日現在)

取締役社長 代表取締役 C E O 兼 C O O	板 垣 康 義	取 締 役 (社 外)	神 岡 晴 夫
取締役専務執行役員 代 表 取 締 役	小 林 秀 親	取 締 役 (社 外)	原 邦 明
取締役専務執行役員 C F O	菅 野 峰 一	取 締 役 (社 外)	久保山 路 子
取締役常務執行役員	川 上 昇	常 勤 監 査 役	羽 沢 厚
取締役常務執行役員	佐 藤 康 准	常 勤 監 査 役	吉 野 英 雄
取締役常務執行役員	山 崎 徹	監 査 役 (社 外)	藤 村 啓
取締役常務執行役員	齊 藤 隆 司	監 査 役 (社 外)	村 上 眞 治
取締役上席執行役員	尾 形 茂 樹		

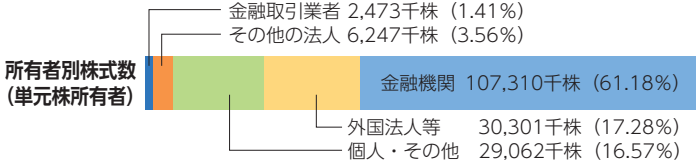
株式の状況 (2017年3月31日現在)

発行可能株式総数	394,550,000株
発行済株式の総数	175,395,808株
株主数	(前期末比436名減) 6,071名

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	35,079	20.26
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,850	6.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,222	4.17
第一生命保険株式会社	6,799	3.92
明治安田生命保険相互会社	6,378	3.68
ジャックス共栄会	5,362	3.09
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	4,919	2.84
ジャックス職員持株会	3,802	2.19
日本生命保険相互会社	2,940	1.69
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,822	1.63

(注) 1. 持株比率は、自己株式(2,305,711株)を控除して計算しております。
2. 自己株式(2,305,711株)には、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(従業員持株ESOP信託口・75579口)が所有する当社株式415,000株を加算しておりません。
3. 持株数及び持株比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

株式分布状況 (2017年3月31日現在)



株式併合、単元株式数の変更

2017年6月29日に開催された第86期定時株主総会において、同年10月1日付で株式併合*及び単元株式数を変更することが承認可決されました。
※ 普通株式5株を1株に併合

	変更前	変更後
単元株式数	1,000株	100株
発行済株式総数	175,395,808株	35,079,161株
発行可能株式総数	394,550,000株	78,910,000株

株式会社ジャックス

本部 〒150-8932 東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号 恵比寿ネオナート
TEL 03-5448-1311(代)

当社ホームページをご覧ください。 URL <http://www.jaccs.co.jp/>

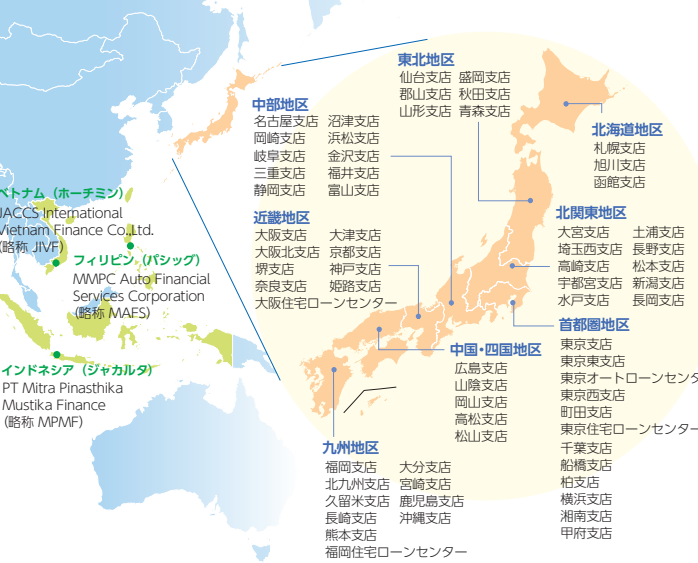
連結子会社 (2017年3月31日現在)

- ジャックスリース(株)**
■事業内容：リース業務、オートオークション出品代行業務
- ジャックス・トータル・サービス(株)**
■事業内容：損害保険・生命保険の保険代理店業、通信販売
- ジャックス債権回収サービス(株)**
■事業内容：「債権管理回収業に関する特別処置法（サービサー法）」に基づくサービサー業
- ジャックス・ペイメント・ソリューションズ(株)**
■事業内容：集金代行・後払い決済業務
- JACCS International Vietnam Finance Co.,Ltd. (略称 JIVF)**
■事業内容：二輪・四輪車ローン、クレジットカード

持分法適用関連会社 (2017年3月31日現在)

- PT Mitra Pinasthika Mustika Finance (略称 MPMF)**
■事業内容：二輪・四輪車ローン
- MMPC Auto Financial Services Corporation (略称 MAFS)**
■事業内容：四輪車ローン

主な営業拠点 (2017年3月31日現在)



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
公 告 の 方 法	電子公告により行う。 (当社ホームページに掲載) ※やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。

(ご注意)
1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

ミックス責任ある木質資源を使用した紙FSC® C013080

VEGETABLE OIL INK